

# 平成 29 年度高岡市男女平等推進市民委員会

## 会議録（要旨）

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○ 日 時 | 平成 29 年 8 月 24 日（木） 午後 1 時～午後 2 時 30 分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ○ 場 所 | 高岡市役所本庁舎 3 階庁議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ○ 出席者 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 委 員 12 人（市田会長、大坂副会長、大平委員、勝山委員、小泉委員、島委員、高木委員、廣瀬委員、養委員、向委員、山口委員、六瀬委員）</li><li>・ 高岡市 7 人（高橋市長、青島市民生活部長、堂故市民生活部次長、柴田男女平等推進センター所長、中田係長、岡主事、中主事）</li><li>・ 傍聴者 0 人</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| ○ 内 容 | <ol style="list-style-type: none"><li>1 開 会</li><li>2 市長あいさつ<ul style="list-style-type: none"><li>● 市長<ul style="list-style-type: none"><li>・ 皆様方には、日頃から、本市における男女平等・共同参画の推進に格別なご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。</li><li>・ 政府においては「すべての女性が輝く社会づくり」を最重要課題に位置づけ、「女性の力」が十分発揮されるよう、子育て・介護支援、雇用環境整備といった様々な分野で取組が進められている。また、少子高齢化時代を支える力として、「女性の力」は様々な場面で発揮されるものと期待している。本市においても、管理職が「イクボス」の宣言を行い、女性職員が活躍できるよう枠組みの整備を進めてきた。職員が率先して仕事と家庭の両立を考え、決意をもって進んでいきたい。</li><li>・ 平成 28 年度末で終了した後期事業計画での実績と、今年度が男女平等推進プランとDV対策基本計画の第 2 次プランの推進初年度であることから、各種施策・事業の取り組みについて説明する。皆様方のご審議を賜り、今後の本市の男女平等・共同参画の推進のために忌憚のないご意見を賜りたい。</li></ul></li></ul></li><li>3 会長あいさつ</li><li>4 議事<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 目標とする指標の推進状況(後期事業計画)<br/>高岡市男女平等推進プラン(第 2 次)の取り組みについて</li><li>(2) 高岡市DV対策基本計画(第 2 次)の取り組みについて</li></ol></li></ol> |

### 委員紹介

#### ●事務局

委員・市当局紹介

◎会長

- ・ 「高岡市男女平等推進プランの取り組み」と「高岡市DV対策基本計画の取り組み」について事務局より説明してください。

●事務局

- ― 男女平等推進プランの取り組みについて、資料1・2により説明 ―
- ― DV対策基本計画の取り組みについて、資料3により説明 ―

意見交換

<男女平等推進プランの取り組みについて>

◎ 会長

- ・ ただ今の説明について質問や意見はあるか。

◎会長

- ・ 資料1「目標とする指標の推進状況」の審議会等の女性委員比率および女性委員がいない審議会等の数について、女性委員比率について達成したことは素晴らしい。女性委員がいない審議会が1つあるが、どのような委員会か。

●事務局

- ・ 委員数が2名の高岡市公共工事総合評価委員会である。

●事務局

- ・ 先日の庁内連絡会議では、率は上がっているが、ひとりがいくつも委員会を兼ねているのではないかという指摘があった。人材育成・発展など委員登用のすそのを広げていくことが大切である。

○委員

- ・ 資料1の(15)「パパとママの育児講座への夫婦での参加率」や、「スポーツ教室の参加数」が下がっている原因は。少子化や未婚が要因か。

●事務局

- ・ 少子化や未婚が明確な要因ではなく、周知の方法と考える。

◎会長

- ・ 資料1の(9)市男性職員の育児休業等取得率が高いが、一人当たりの取得期間は。

●事務局

- ・ 1週間以内、1ヶ月以内など短期である。取得できる期間は男性も女性も同じ。

○委員

- ・ 以前「ありて」の取材で、市役所で初めて育休を取得した男性へのインタビューをしたが、短期間でも取得してよかったとの感想であった。取得した人の意見等も聞きながら、もっと取得できるような具体的な方法の検討が必要。

○委員

- ・ 資料1の基準数値はどのように決めているのか。

●事務局

- ・ 後期事業計画の策定時に前年度の実績を基準数値としたが、実績が確定しなかった項目については、前々年度等の数値を用いたことから項目でのばらつきがある。  
第2次については、平成28、27年度を基準としている。

◎会長

- ・ 先ほどの市の男性育休第1号取得者についての紹介等、事業所や市民に向けての働きかけはしたのか。

●事務局

- ・ プラン情報誌「ありて」に掲載していることから、市のホームページでも見ることができている。

○委員

- ・ 男性職員の育児休業等は行政が手本となり、率先して取り組んでいるのは良い。民間に対してはどのような働きかけをしているか。

●事務局

- ・ ワーク・ライフ・バランスの取り組み推進の中で男女共同参画推進員高岡連絡会が主催するミニ地区懇談会で行っている。

◎会長

- ・ 民間の取得状況はどうか。

○委員

- ・ 民間でも制度はできているが、休暇後の復帰が心配で取れなかった経験がある。男性の取得者は、自分の周りにはいなかった。

○委員

- ・ 資料1は、データの羅列になっているので、例えば、子育て支援であれば、男性の育児休業等の取得が増えて子育てしやすくなったことから出生率が上昇した等、成果を示すものであった方が良い。小規模零細企業が多い高岡市では、従業員に家族が含まれていることから、家族での対応が多い。そのため、育児休業制度自体が制度としてあてはまらないのではないかと考える。

◎会長

- ・ 高岡市の保育園待機児童はいるのか。

●事務局

- ・ 待機児童はいない。

○委員

- ・ 資料1の(22)子宮がん検診及び(23)乳がん検診の受診率はどのように出しているか。

●事務局

- ・ 国保加入者及び社保等の被扶養者のうち、乳がんは40歳以上、子宮がんは20歳以上を対象としている。率の算出には、係数も用いている。

○委員

- ・ 母子保健推進員をしている。赤ちゃんの離乳食が始まる頃に赤ちゃん用の歯ブラシと、乳がんのセルフチェックシートを配布し、検診の啓発をしている。

◎会長

- ・ 乳がんは30歳代の進行が非常に早く、一番危険である。対象者を見直す必要があるかもしれない。

○委員

- ・ 「地域における女性防災リーダーの育成促進」を取組事業として掲げているが、リーダーを育成するための具体策は。
- ・ 先日防災に関する講座を行ったが、避難所では女性が声を出せないことも多くあるので、女性リーダーは必要だという話もあった。

●事務局

- ・ 具体的な事業等については、防災担当である危機管理室とも連携しながら、これから検討していきたい。

○委員

- ・ 自主防災組織には、男性が多い。女性ならではの視点も必要であることから組織もあればよいと考える。

◎会長

- ・ ぜひ協力してすすめてほしい。

○委員

- ・ プランの重点課題のひとつとして掲げている「国際化社会における理解と交流」について、先日、近所にベトナム人が10人転入してきたが、彼らは日本語が全くできない。日本語教室の相談を受けたが、平日は仕事のため、土日に公民館などを利用し実施できないものかと考えている。外国人の理解と交流という視点で何か取り組みはできないか。

◎会長

- ・ 富山市でも外国人が増えている。病院でも通訳を頼むなど、大変な思いをしている。

●事務局

- ・ 外国人への対応については、市役所1階ロビーにポルトガル語の通訳者を常駐させている。最近はベトナムからの単身者の転入が増えていることから、支援を進めていきたい。

<DV対策基本計画の取り組みについて>

◎会長

- ・ DV対策基本計画についてのご意見はあるか。

◎会長

- ・ 若い世代へのDV予防啓発講座について、受講した生徒たちの感想は。

○委員

- ・ 「今、知ることができて良かった」という感想が印象に残っている。そう思ってもらうことが目的のひとつでもあることから、伝わって良かった。先生方からは、題名が「デートDV」となっていることから、中学1年生には早いのではないかと最初は心配されていたが、いじめにも通じる内容であることから、講座後は「良かった」との感想をいただいている。
- ・ 高岡市内の中学生全員が、一生に1回はこの講座を受けるということを目標としている。そうすると「講師を増やす」という課題が、今以上に大となるが、やはり講座はみんなに受けてほしい。

◎会長

- ・ 親の反応はどうか。

○委員

- ・ 父兄や養護教諭にも声はかけているが、これまで見学者はいない。まずはPTAに働きかけたい。

○委員

- ・ この様な講座を中学生が受講していることも知らなかった。

●事務局

- ・ 将来、DVの被害者も加害者も生み出さないためにもこの講座は有効であること、また中学生だけでなく大人にも受講してもらいたいことから、ミニ地区懇談会の資料にも講座の紹介をし、周知している。

○委員

- ・ 男女共同参画推進員高岡連絡会の定例会でもこの講座を受講した推進員が各地区に持ち帰り、自治会や婦人会などに伝えて欲しいが、なかなか繋がらない現状である。

○委員

- ・ 臨床心理士によるカウンセリング事業の縮小の理由は。

●事務局

- ・ 相談員が日々の相談の中で、専門的なカウンセリングが必要であると判断した場合実施している。これまで該当する人が少なかったことや相談者からのキャンセル等があり、臨床心理士との年間契約が有効に働いていなかった。そのため今年度からは、必要な時に連携して対応できるようにしているので、事業そのものを縮小したものではない。

◎会長

- ・ 昨年度の実施数は。

●事務局

- ・ 延べ回数は10回、実人員は4名である。

○委員

- ・ 今後の取り組み8、(4)「警察等関係機関と連携して男女平等推進センターの安全確保に努める」は、被害者にとっての安全確保か。追いかけてくる加害者への対策か。

●事務局

- ・ 加害者対策の意味もある。

○委員

- ・ 警察と連絡をとって、逮捕権を発動してほしい。家庭内の暴力だから逮捕ができない現状に疑問を感じる。児童虐待については、医療機関が直接警察に通報できる。DVの抑止力として、市の条例で定めることはできないのか。

●事務局

- ・ 現行では不可能。市が条例で定めるのではなくて、国が法律を整備しなければならない。

○委員

- ・ 入院するような怪我をさせても、夫が逮捕されたという話は聞いたことがない。被害者が相談し、仕事を辞め、引っ越し等、次から次へと人権侵害されていく現状である。逃げてもその後が大変である。また、被害の実態があっても、なかなか被害者として認められないこともある。親権も、被害者が仕事を辞めれば不利になる。納得いかないことばかりである。

○委員

- ・ 相手に怪我をさせても問題にならないのか。

○委員

- ・ 夫婦間の暴力は民事不介入の夫婦喧嘩ととらえられていた。今は相談に応じてくれるが、逮捕となると殺人未遂のレベルまでいかないと難しい。

●事務局

- ・ 最近は、警察との連携も強くなっている。

○委員

- ・ 法律の定めがなくても、密な連携をとっていれば被害者支援につながることも多くあるはず。

○委員

- ・ 新規事業のDV加害者プログラムについては興味が深い。具体的にはどのようなプログラムを考えておられるのか。

●事務局

- ・ 具体的な内容や実施については今のところ明確にしていない。本計画期間中に何らかの方向性が出せるよう努めたい。国や県の動きも見ながら、市としてなにができるかを考えていきたい。

◎会長

- ・ 加害者が地元では受講しづらいため、東京で受講したという人が富山市に何名かいる。高岡市にはいるか。

●事務局

- ・ 把握していない。多くは加害者が自分を加害者だと認識していない。ここにも問題がある。

○委員

- ・ 加害者が「もう暴力はふるいたくない」と思わなければ受講につながらない。アメリ

カのように、捕まったら必ず受講しなければならないということにでもしなければ、自ら受講する加害者を増やすことは難しい。日本ではそもそも捕まらないということが問題であり、DV根絶までは遠い道のりではあるが、中学生へのデートDV講座のことが、大人になっても頭の片隅に残ってくれていれば、加害者や被害者の減少につながるものと思っている。

◎ 会長

- ・ 市当局においては、本日各委員から出された意見・提案等も踏まえ、今後、各種施策の推進に努めていただきたい。

●事務局

- ・ これで本日の高岡市男女平等推進市民委員会を終了とする。

〔以 上〕